

重点施策発表

福岡地区

第 33 期上期 全体会議

(株)リックサポート

6 月 7 日、企業が抱えるリスクをマネジメントして、最大利益をもたらすことを使命とする(株)リックサポート(福岡県古賀市、林 正悟社長)は、自社「RHビル」にて、第 33 期上期全体会議を開催した。

この会議では、林社長による説示の他、各部門(営業第一チーム、営業第二チーム、営業南九州チーム、営業公務チーム、損害管理チーム、業務チーム、管理チーム)および関連会社(株)リックメンテナンスネットワーク(福岡県古賀市、日高 清寛社長)が、前期(32 期)総括と第 33 期重点課題を発表した。



林 正悟社長

【理想のリック社員とは】

林社長は冒頭、リックサポートの理想とする社員像について触れた。「日本を取り巻く将来像は極めて厳しいといえます。例を挙げれば、少子高齢化、すさまじいスピードで押し寄せる IT 化の波、発展途上国の躍進、保険業法の様変わり……。第 4 次産業革命が更に進むとほとんどの仕事が AI にとって変わるでしょう。ですから質の高い本物の社員でなければ、失敗していく時代になります。大企業、中小企業に関係なく、伸びている企業は社員が、目的と目標を共有化して、それに向かってポジティブに活動しています。企業が存続していくためには、目標となる売上を達成し、様々な保全や管理をし、社員の質を上げていかなければ、永続的成長はありません」との考えを示した。

そして「①人を動かし、組織を動かして目標を達成に導くことができるゼネラリスト型社員 ②専門知識が豊富、分析能力が長けているなどのエキスパート型社員 ③ルーチンワークが得意でミスなく量をこなせるロールプレイヤー型社員 これら 3 タイプの社員を適材適所に配置して、更に強い会社になりたい。そのためには、自分自身を磨く努力を続けてほしいし、会社として社員教育の充実、労働環境の整備、IT 化の推進といった支援を惜しみません」と続けた。

会議に参列した筆者も自分自身が言われているような気がして、身が引き締まる思いがした。

【33 期の重点課題】

33 期の重点課題として挙げたのは、①2 次代理店の開発 ②行政マーケットの営業強化 ③IT 環境整備に向けた積極投資だ。

林社長は、①について、「新しい販売方法として期待しているのが 2 次代理店の開発で

す。2次代理店をつくるのが目的ではありません。代理店さんといつも寄り添うようにと心がけ、心のこもったフォローをして、良好なパートナー関係をつくることに力を注いでまいります」と語った。

②について、「まだまだ行政マーケットにはチャンスがあると思います。今までは限られた社員で対応していましたが、今期は特別チームを立ち上げました。すでに九州58の市町村で取引実績があります。行政マーケットに強いリックとして認識されるようになってきました。つい先般も、大阪市からも入札参加オファーが来るまでに成長しています。この分野をもっと強くしたいです」と語気を強めた。

③については、「5G IoT AI 自動運転といった用語が活発に飛び交う時代になりました。リックのAI導入は、3~4年をメドに計画しています。現在、事故発生状況、顧客フォロー状況など各部署における日々の事象に関して、それらをデジタルで結ぶことにより、リアルタイムに情報共有できる環境構築を進めております。またホームページの刷新によりカスタマーサービス向上、情報発信力強化、採用活動支援といった活用に向けた研究を続けています」と話した。

その後、各部署より今期の具体的な重点施策発表があった後、鈴田営業本部長による力強い決意披歴がなされた。



決意披歴を渡す鈴田営業本部長

【特別講演会で福岡の最新情報を聴取】

また今回、地元福岡の情報を中心とした各種刊行物出版で実績のある(株)プロジェクト福岡(福岡市中央区)代表取締役社長 神崎 浩一郎氏による講演会「福岡が変わる！九州が変わる！」が開催された。客観的な視点で捉えた“アジアの中の福岡市”“福岡市民の人間性・気質”“インバウンド効果の実態分析”“博多と天神の集客力”など興味深い最新情報が披露された。



(株)プロジェクト福岡 神崎社長

(村 本)

【(株)リックサポート会社概要】

所在地：〒811-3106

福岡県古賀市日吉 2-16-7

<http://www.ricsupport.jp/>

代表者：林 正悟

資本金：1,000万円

業 種：保険代理、

リスクマネジメントコンサルティング

